

Martin Stanzeleit Cello Recital

マーティン・スタンツェライト

チェロ リサイタル

11月6日(金)

18:45 開演

広島

アステールプラザ

オーケストラ等練習場

主催 オンリー・チェンバー・

ミュージック事務局

共催 ひろしまオペラ・音楽推進委員会、

アステールプラザ、(財)広島市文化財団

11月8日(日)

14:00 開演

福岡

西南コミュニティ

センター

主催 西南学院

共催 オンリー・チェンバー・

ミュージック事務局



川島基 ピアノ



Cassadó

Suite for Cello solo (1926)

カサド

無伴奏チェロのための組曲(1926)

Mendelssohn

Sonate für Violoncello und Piano

No.2 D-Dur op.58

メンデルスゾーン

ソナタ第2番

ニ長調作品 58

Rachmaninov

Sonata for Cello & Piano

g-minor op.19

ラフマニノフ

ソナタ ト短調 作品 19

TICKET

一般 ¥3,000 学生 ¥1,500

チケット取扱所

広島

アステールプラザ ☎(082) 244-8000

デオデオ本店 ☎(082) 247-5111

ヤマハ広島店 ☎(082) 244-3779

ムジカパクス ☎(082) 238-3936

福岡

ヤマハ福岡店 ☎(092) 721-7633

イズタ・バイオリン ☎(092) 713-7536

西南キャンパスサポート ☎(092) 823-3576

お問い合わせ

☎ (090) 8060 0497

✉ ocms@martinstanzeleit.com



Martin Stanzeleit, Cello

ドイツ出身。5歳よりチェロを始める。1990年、エッセン国立音楽大学に入学、ヤンチャン・チョウ氏に師事。95年、同大学を首席で卒業。その後、ソリストコースでクリストフ・リヒター氏のもとで学ぶほか、ジークフリート・パルム、ハインリヒ・シフ、ヤナ・スターカーの各氏に師事。フォルクバンク・コンクールに入賞。95年よりドイツ室内楽アカデミー管弦楽団の一員としてコンサートツアーに参加。デンマーク王立歌劇場に入団。その後、コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団にチェロ首席奏者として招聘される。また、ブカレストフィルハーモニー管弦楽団、ハーゲン室内楽団等とソリストとして共演。室内楽奏者としても、デンマーク、ドイツ、イギリス等でコンサートを多数行う。またデンマークで毎年行われる夏のアンナベルク音楽祭に、レギュラーソリストとして招聘される。98年夏より、広島交響楽団の首席チェロ奏者に就任。以後、大阪、仙台、山形等の各地の交響楽団の客演首席奏者として出演。99年、ブルガリアのスリーベン・フィルハーモニー管弦楽団とチェロ・コンチェルトをCDに録音。弦楽3重奏「パラス・トリオ」を結成し、広島、東京で公演する。2000年、東欧諸国コンサートツアー、2001年、広島でチェロ・ソロリサイタル(ピアノ：磯貝里枝子)、2002年、渡邊一正、伊藤文乃両氏と室内楽「トリオ・ポストレーモ」を結成、広島、東京でコンサートを開催する。2003年より「広響のメンバーによるオンリー・チャンバー・ミュージック室内楽シリーズ」を主宰、元ベルリンフィルメンバーのヘンリック・シェーファー氏を迎えるなどバラエティー豊かなメンバーと編成で開催。2007年で5年目を迎える。2005年、NHK主催「平和巡礼 2005 HIROSHIMA NAGASAKI」に参加。2006年、再びブカレストフィルハーモニー管弦楽団とブラームスの二重協奏曲をヴァイオリニストの姉と共演。ドイツにおいて「Neugierig auf Japan」(日本に好奇心)と「Mein Hiroshima」(私の広島)を出版、レクチャー&コンサートツアーを企画し14ヶ所を回る。2007年4月よりNHKラジオ「ドイツ語講座」のテキストでエッセイの連載がスタートする。この他に、2000年よりこれまで5回に亘り広島交響楽団の定期演奏会などにソリストとして出演。また広島市民オーケストラ、精華女子短期大学コミュニティオーケストラ(福岡)、広島ウインドオーケストラの定期演奏会にソリストとして出演しており、今後もさらなる活躍を期待されている。



Motoi Kawashima, Piano

岡山生まれ。10歳より本格的にピアノと作曲を始める。東京音楽大学ピアノ演奏家コースに特待生として入学。同大学在学中に、NHK 洋楽オーディション合格、練馬文化センター新人演奏会オーディション最優秀賞受賞、また吹田音楽コンクールにて第1位受賞。同大学、並びに同大学院を首席で卒業し、その後ローム・ミュージックファンデーション奨学生として、ドイツ国立ワイマール「フ란ツ・リスト」音楽大学大学院に留学、更に文化庁派遣研修生としてベルリン芸術大学大学院にて学び Konzertexamen 課程修了、ドイツ国家演奏家資格取得。スクリャービン国際ピアノコンクールで優勝するほか、アルトゥール・シュナーベル国際ピアノコンクール第2位、サン・マリノ共和国国際ピアノコンクール第3位、ジュリアーノ・ペカール賞国際ピアノコンクール最高位(1位なしの2位)。2005年ドイツ・ドルトムントで行われた第10回シュベルト国際ピアノコンクールにおいて優勝し、一躍脚光を浴びた。2006年には待望のデビューアルバムをドイツで製作し、またウィーンの「ラジオ・シュテファンズドーム」などで度々放送されている。2008年「ラ・フォル・ジュルネ音楽祭「熱狂の日」」への出演の他、ドイツ・ホフ交響楽団との演奏会でラフマニノフ作曲ピアノ協奏曲第3番を演奏する。2009年にはミュンヘン・フィルの本拠地、ミュンヘン・ガスタイクで日本人としては初めて「Winners&Masters」のシリーズでミュンヘン・デビューリサイタルを開くほか、ヨーロッパで活躍できる数少ない日本人アーティストとして 今後も尚一層の活躍が期待されている。ベルリン交響楽団(Berliner Symphoniker)、ベルリン・ホーエンフェルス交響楽団、ドルトムント管弦楽団、イエナフィルハーモニー管弦楽団、グロッセート交響楽団、ルーマニア国立バカウ交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京音楽大学オーケストラ、カレッジオペラハウス管弦楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団などと共演。これまでにピアノを、故・三宅民規、弘中 孝、東 誠三、野島 稔、柳井修、ロルフ＝ディーター・アーレンス、ラザール・ベルマン、エレナ・ラピツカヤに師事。マスターコースにて、アレクシス・ワイセンベルク、パウル＝バドゥラ・スコダに師事。岡山芸術文化賞グランプリ、マルセン文化賞受賞。現在ベルリン在住。

